

# 理工学 メディアセンター ニュース



Media Center for  
Science and Technology  
Newsletter

## 私の一冊

物理情報工学科

田中敏幸先生

『天空の蜂 / 東野圭吾 著』  
(講談社刊)



配架場所：創想ライブラリー

原発を他のエネルギーに置き換えるためには、まだかなりの年月が必要になる。原発を廃炉にするまでの間の運用には、我々の原子力に関する知識と、十分な議論が必要となる。この図書は、最新鋭の原発がテロリストに狙われたという想定 of 推理小説である。この小説は映画化されたので、内容をご存じの方も多いと思われる。物語の最後に、犯人からの手紙という形で、著者が原発に対してどのような考えを持っているかが書かれているが、映画では異なったストーリーになっている。映画における物語の展開のスピード感や映像の迫力は素晴らしいが、人物の心の動きや、小説に込められた著者のメッセージは、書籍からでないと思われ。

## Contents

理工学メディアセンターが  
開館50年を迎えます！

P.1

第19回サイエンスカフェ

P.1

田中敏幸新所長 就任ご挨拶  
開館50年よせて

P.2

秋も盛り沢山！  
オンラインセミナー案内

P.2

## 特集

# 理工学メディアセンターが開館50年を迎えます！

2021年10月4日、理工学メディアセンターは開館50年という節目を迎えます。1971年、松下電器産業(現パナソニック)株式会社の創始者である松下幸之助氏の寄付により建設され、松下記念図書館として開館しました。以降、理工学分野の専門図書館として、情報の収集・保存・提供のみにとどまらず、知的好奇心を高める交流の場を生み出すべく、あゆみを続けてきました。

10月はこの節目を記念して、展示やショートムービーの公開などを企画しています。企画内容については、当館のウェブサイト等で順次

ご案内していきますので、どうぞお見逃しなく！

開館50年記念企画 其の壱：展示

「写真でたどる

理工学メディアセンターのあゆみ」

【期間】2021年10月18日(月)  
- 11月30日(火)

【場所】理工学メディアセンター  
創想館1階

慶應義塾大学理工学メディアセンター  
開館50年記念展示

写真でたどる  
理工学メディアセンターの  
あゆみ



2021年10月18日(月)～11月30日(火)  
理工学メディアセンター創想館1階

## イベント

# 第19回サイエンスカフェ

## 生活に溶け込む人工知能による病気発見

### 医工連携におけるLessons Learned

今年度2回目のサイエンスカフェを開催します！今回は情報工学科の杉浦裕太先生をお迎えし、ご講演いただきます。今回も会場(15名程度)、オンライン配信を選択して参加できます。

【講師】杉浦 裕太 先生(情報工学科)

【日時】10月26日(火) 18:15-19:30

【会場/配信】理工学メディアセンター創想館1階

Zoomによるオンライン配信

【対象】塾生・教職員(要Keio.jp)

※今後の情勢により開催中止または開催形式変更の可能性がります。



【杉浦先生からの講演案内】

専門の医師でないと見逃してしまう病気の症状をスマホでゲームをするだけで診断。

熟練の経験や知識をコンピュータに学ばせることで、重症化の予防や医療リソース不足の解消を目指した研究を紹介します。

さらに、医工連携を通じて私自身が経験したことや学んだことについてお話をします。

医療が話題に上ることが多い昨今、先生のお話を一緒にきいて知見を広げませんか。オンライン配信もありますので、他キャンパスの塾生・教職員の方も気軽にご参加いただけます。参加ご希望の方は右記QRコードからお申込みください。



今月の一枚:捨てられない



現在のような図書館のオンラインシステムが導入される前に使用されていたカード目録(書名や著者名、請求記号など本の情報を記載)が入った木箱です。今はほぼデータ化が進み、図書館での書誌情報登録から共有、ユーザーによる所蔵情報検索がPC上であつたという間ですが、かつてはこの木箱が図書館の本の情報源で、すべてが手作業でした。どこの図書館でも用途に沿って排列した(書名順や著者名順など)木箱があり、大活躍の時代があつたのです。

当館でも開館した頃からシステムが導入されるまでずっと使われていたが、今は肩身が狭そうに事務室の端に追いやられています。盛者必衰、今はもう「捨てようか、どうしようか…」と担当が変わるたびに頭を悩ませるお荷物になっています。

…そうは言っても、何だかんだ愛着があつて捨てられないのでした。

メディアセンター豆知識

館内美術品探訪:「白の世界」

メディアセンター本館の白壁に融和しつつ、独特の存在感を放つ絵画が展示されているのをご存知でしょうか。それも1点でなく、2点も。この絵画は、経済学部出身の洋画家・立体作家である清川泰次氏(1919~2000)による一連作品「白の世界」のNo.60とNo.62です。1973年に制作され、作者である清川氏本人から寄贈されたもので、創設期より約50年間、図書館内を静かに見守り続けています。2011年にはアート・センターと専門家による修復保存処置がなされ、当初からのキャプションもそのまま展示してあるので、館内の何処に、どちらの作品が飾られているか、ぜひじっくりと探訪してみてください。

ご挨拶

田中敏幸新所長 就任ご挨拶

開館50年によせて

2021年10月より理工学メディアセンター所長を務めることになりました物理情報工学科の田中敏幸と申します。今年は理工学メディアセンターの開館50年という節目の年となります。1971年に矢上に工学部が移転したときに松下記念図書館として建てられ、2000年に創想館(14棟)へフロアを拡大して現在に至ります。私は1978年に大学に入学し、1980年に矢上に来て以来、40年以上のあいだ図書館を利用しています。私が学生のときは、レポートの執筆や学位論文の参考文献調査などの情報収集で図書館を利用しました。図書館はまさに情報の宝庫でした。時が流れて、最近では、ネットワークを使って文献検索や情報検索をすることができるようになり、学生も教員も情報収集という目的で現在のメディアセンターに行く機会は減っているように思います。メディアセンターは昔の図書館とは違った機能を持った施設となっています。これまで知的好奇心を高める場と位置付けてきましたが、情報があるだけでなく、そこに文化があり、知的交流の場としても活用できることが重要だと思います。理工学メディアセンターが、皆様にとって大学内で最も好きな場所になっていくことを期待しております。



セミナー

秋も盛り沢山! オンラインセミナー案内

メディアセンターでは秋学期も、Zoomウェビナーを使用して皆様の研究に役立つセミナーを開催します。家から気軽に参加できるこの機会に、ぜひセミナーを活用してください!

慶應義塾大学の所属者は、学部を問わず、どなたでも参加できます。

▼Capital IQ活用セミナー

【日時】10月6日(水) 15:00-16:00  
 【講師】S&P Global Market Intelligence 専任トレーナー  
 【詳細・申込】理工学メディアセンターWebサイト> 利用案内  
 > 講習会・セミナー> Capital IQ活用セミナー



▼英語論文 投稿と戦略セミナー

【日時】10月13日(水) <パート1> 15:00-16:20  
 <パート2> 16:30-16:50  
 【講師】エルゼビア・ジャパン  
 【詳細・申込】理工学メディアセンターWebサイト  
 > 利用案内> 講習会・セミナー  
 > 英語論文 投稿と戦略セミナー



▼科学英語論文の書き方セミナー

【日時】10月20日(水) 15:00-16:40  
 【講師】理化学研究所 小野義正 氏  
 【詳細・申込】理工学メディアセンターWebサイト> 利用案内  
 > 講習会・セミナー> 科学英語論文の書き方セミナー



理工学メディアセンター機関リポジトリ

ΣStar(シグマスター)

ΣStarでは理工学部の研究・教育成果のうち、電子化され、著作者の許諾が得られたものを公開しています。学位論文・プレプリント・リサーチレポート・その他教材など、登録のご相談は理工学メディアセンターまでお寄せください。

理工学メディアセンターWebサイトのリンクよりご覧ください。



発行

慶應義塾大学理工学メディアセンター

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1  
 TEL: 045-566-1477  
 E-mail: rmc-info-group@keio.jp  
 URL: https://www.lib.keio.ac.jp/scitech/

電子版はWebサイト「理工学メディアセンターについて」メニューにある「刊行物・統計」よりご利用ください。

Twitter

